

# 実技検査の受け方

## 情報技術科

- 1 指示があるまで、下の問題用紙を見てはいけません。
- 2 指示があったら、問題用紙（7枚）を全部調べなさい。  
問題用紙はすべてオモテだけに印刷してあります。もし、枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあったりした場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。
- 3 この実技検査では、問題用紙の条件や指示に従ってパソコンを操作し、文書を作ります。  
作った文書は、USBメモリに保存した後、プリンタで印刷して提出します。プリンタでの印刷は、検査が終わってから監督の先生の指示に従って行いますから、検査中に印刷してはいけません。
- 4 検査時間は30分です。残り5分になったときに、監督の先生から連絡がありますから、検査中に時間をたずねてはいけません。
- 5 保存のしかたやプログラムの使い方の説明は、問題用紙の中にあります。
- 6 作業が終わっても、プログラムを終了してはいけません。
- 7 検査中になにか困ったことがあった場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。
- 8 早く終わった人は、終了の指示があるまで静かに待っていなさい。

## 問題用紙

### 情報技術科

【1】 下の文章を、ワープロソフト「ワードパッド」を使って入力しなさい。

受検番号：〇〇〇〇

1行目から

コンピュータの構成

現在、様々な分野で使用されているコンピュータは、ノイマン型と呼ばれるものが主流になっている。この方式は、史上初といわれるコンピュータENIACを開発したジョン・エッカートとジョン・モークリーが考案し、ノイマンはその数学的な裏付けを与えたと言われている。1945年、ノイマンが自身の名前で論文を発表してしまったため、ノイマン型の名前で広く知られるようになった。

ノイマン型の特徴はプログラムをデータとして記憶装置に格納する「プログラム内蔵方式」を採用しており、演算装置・制御装置・記憶装置・入力装置・出力装置の5つの装置で構成されている。

以下の図1は、それぞれの関係を示した例である。

#### 操作方法の例

- (1) 画面左下のタスクバーの「ワードパッド」のアイコンをクリックしてワードパッドの編集画面を開きます。
- (2) 日本語入力のオン・オフは、キーボードにある半角/全角漢字のキーで切り替えます。最初、日本語入力はオフになっています。
- (3) 先頭行から「受検番号：」に続き、自分の受検番号を全角で入力します。またその後の文字や記号もすべて全角で入力します。
- (4) 文章を入力します。
- (5) 入力を間違えた時などは、画面左上の「元に戻す」のボタンをクリックすることでやり直

ワードパッド



半角/  
全角  
漢字

元に戻す



することができます。

- (6) 入力が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。



画面右上の×ボタンをクリックしないように気を付けなさい。

- 【2】 【1】で入力した文章を、用紙の設定をA4縦、余白は、上20mm、下20mm、左35mm、右35mmとして例のような文書に編集しなさい。

ただし、指定されたフォント以外はMS明朝11ポイントとしなさい。

例

中央揃え MSゴシック

26ポイント

右揃え

受検番号：〇〇〇〇

## コンピュータの構成

現在、様々な分野で使用されているコンピュータは、ノイマン型と呼ばれるものが主流になっている。この方式は、史上初といわれるコンピュータENIACを開発したジョン・エッカートとジョン・モークリーが考案し、ノイマンはその数学的な裏付けを与えたと言われている。1945年、ノイマンが自身の名前で論文を発表してしまったため、ノイマン型の名前で広く知られるようになった。

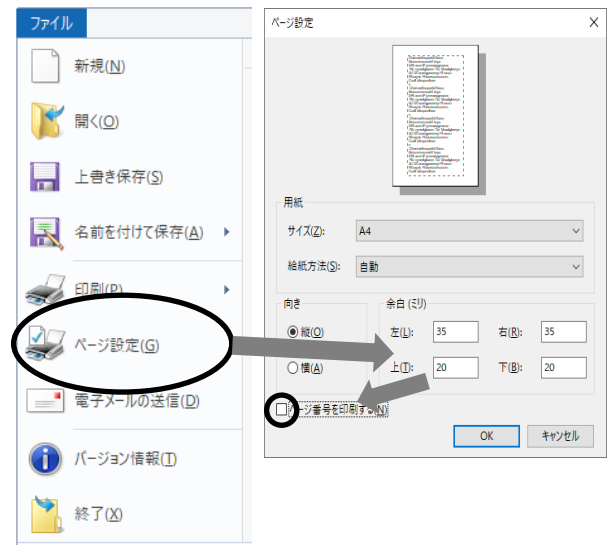
ノイマン型の特徴はプログラムをデータとして記憶装置に格納する「プログラム内蔵方式」を採用しており、演算装置・制御装置・記憶装置・入力装置・出力装置の5つの装置で構成されている。

以下の図1は、それぞれの関係を示した例である。

## 操作方法の例

### (1) 用紙サイズの設定

- ① 「ファイル」メニューから「ページ設定」を選びます。
- ② 余白を設定します。
- ③ 「ページ番号を印刷する」のチェックをはずします。
- ④ OKをクリックします。

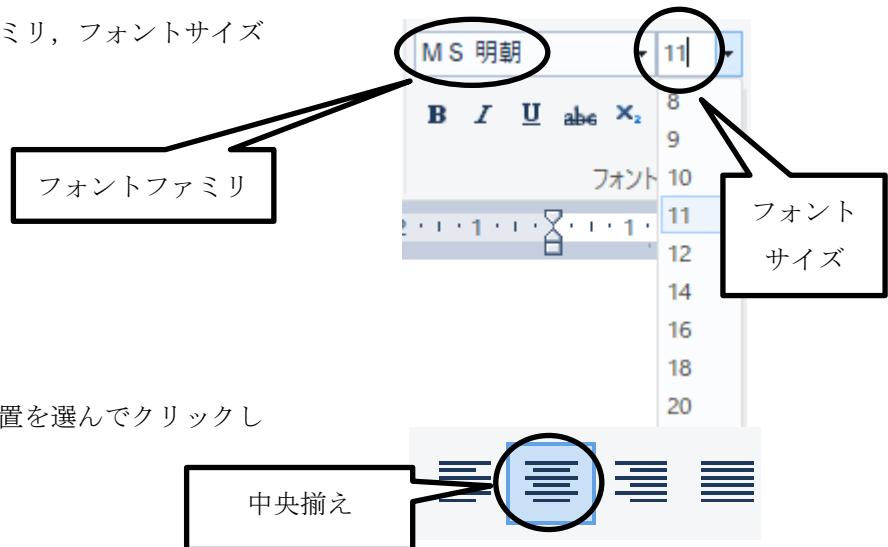


### (2) フォントファミリー, フォントサイズ, 行の配置の変更方法

- ① 変更したい文字をマウスでドラッグすると、右の図のように反転表示されます。

⇒ コンピュータの構成

- ② 目的のフォントファミリー, フォントサイズを選びます。

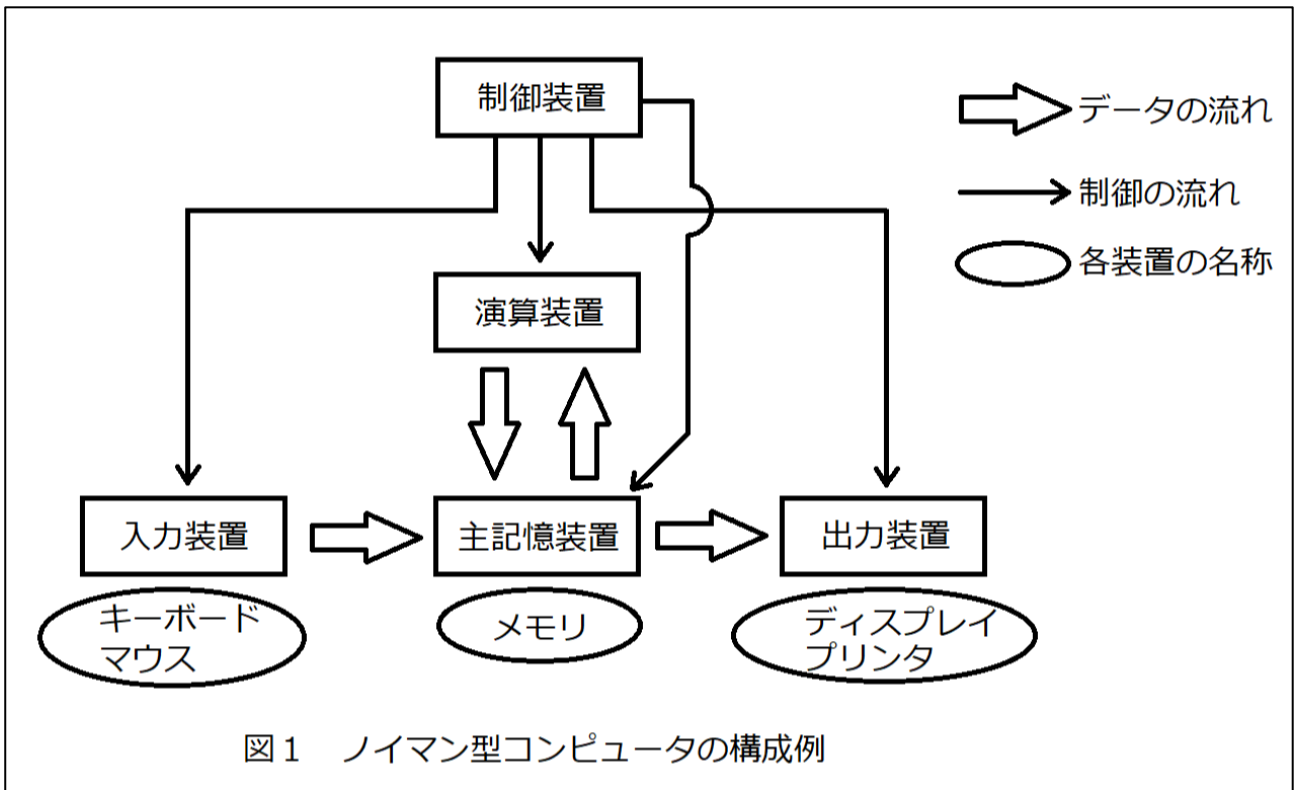


- ③ 右図のボタンから配置を選んでクリックします。

- (3) 編集が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。

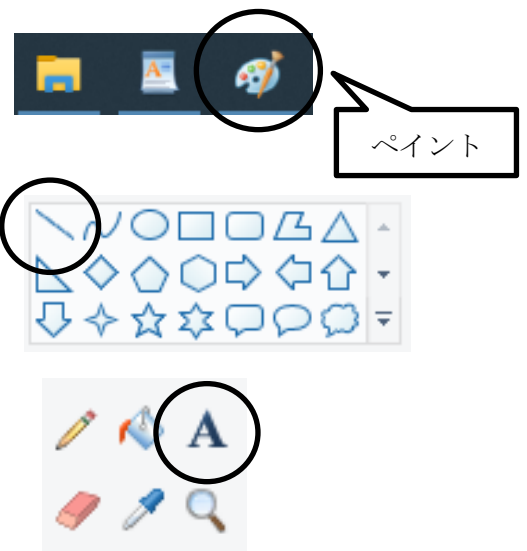
画面右上のXボタンをクリックしないように気を付けなさい。

【3】 下のような図を描画ソフト「ペイント」を使ってかきなさい。また、かいた図を【2】で作成した文書に貼り付けなさい。図に使用する文字のフォントやサイズ、線の太さ、色は問いません。

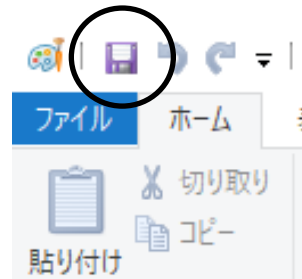


操作方法の例

- (1) 画面左下のタスクバーの「ペイント」のアイコンをクリックしてペイントの編集画面を開きます。
- (2) 水平・垂直な直線を引くにはメニューの図形から直線を選択し、シフトキーを押したまま直線を引きます。円や長方形なども図形から選択できます。
- (3) 文字を入力するには、ツールから **A** を選択します。
- (4) 文字を入力したい場所をクリックし、文字のサイズや種類を選択します。

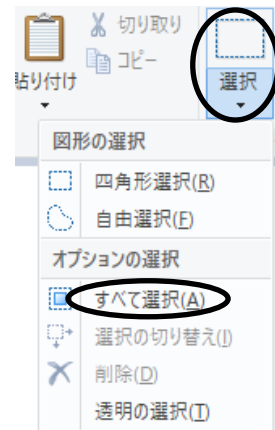


- (5) 描画が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして上書き保存します。



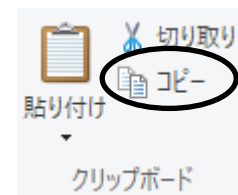
- (6) 図のコピーと貼り付け

- ① 画面左上の「選択」の下にある「▼」をクリックします。



- ② 開いたメニューから、「すべて選択」を選んでクリックします。

- ③ 画面左上の「コピー」をクリックします。



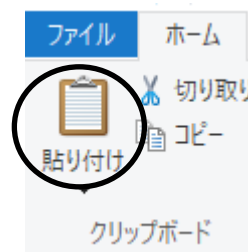
- ④ コピー作業が終わったら、「ワードパッド」のアイコンをクリックします。



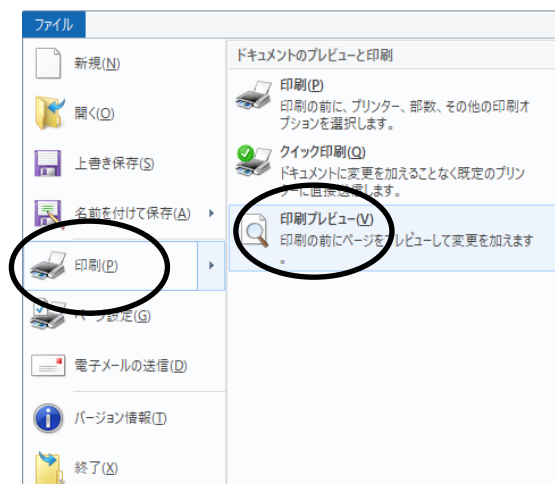
ワードパッド

- ⑤ 図を挿入する行にカーソルを合わせます。  
(位置は7ページの完成した文書を参照)

- ⑥ 画面左上の「貼り付け」のボタンをクリックして図を貼り付けます。



- ⑦ 図の「貼り付け」が完成しているかを確認します。「ファイル」メニューから印刷をポイントし、その中から印刷プレビューを選択し、A4サイズ1ページに文書が全ておさまっているかを確認します。



- ⑧ 文書が2ページになった場合は貼り付けをした図の大きさを調整して1ページにおさまるようにします。

図の部分をクリックすると右の図のように選択されます。角を選択するとマウスポインタの形が変化するので、そのままドラッグして図の大きさを変えます。

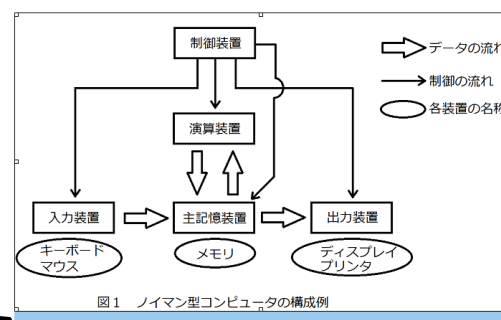


図1 ノイマン型コンピュータの構成例

## コンピュータの構成

現在、様々な分野で使用されているコンピュータは、ノイマン型と呼ばれるものが主流になっている。この方式は、史上初といわれるコンピュータ ENIACを開発したジョン・エッカートとジョン・モークリーが考案し、ノイマンはその数学的な裏付けを与えたと言われている。1945年、ノイマンが自身の名前で論文を発表してしまったため、ノイマン型の名前で広く知られるようになった。

ノイマン型の特徴はプログラムをデータとして記憶装置に格納する「プログラム内蔵方式」を採用しており、演算装置・制御装置・記憶装置・入力装置・出力装置の5つの装置で構成されている。

以下の図1は、それぞれの関係を示した例である。

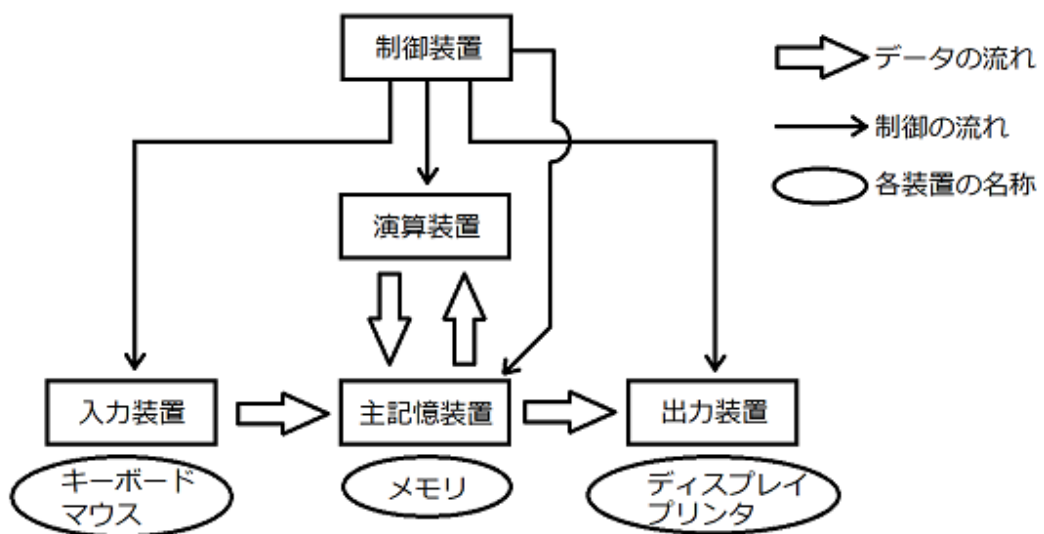


図1 ノイマン型コンピュータの構成例

- (7) 全ての作業が終わったら、「ワードパッド」の画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。画面右上のXボタンをクリックしないように気を付けなさい。

※以上で終了です。早く終わった人は、終了の指示があるまで静かに待っていなさい。